

## IV構造(21. 木質材料) ①木材の許容応力度

- 木材の繊維方向の短期許容応力度は、積雪時の構造計算をする場合を除いて、基準強度の $\frac{2}{3}$ である。
  - 木材の繊維方向の長期許容応力度は、積雪時の構造計算以外の場合、木材の繊維方向の基準強度 $F$ の $\frac{1.1F}{3}$ 倍。
  - 長期の積雪荷重を検討する場合、木材の繊維方向の長期許容応力度は、通常の長期許容応力度の $1.3$ 倍の数値。
  - 木材の繊維方向の短期許容応力度は、積雪時の構造計算以外の場合、長期許容応力度の $\frac{2}{1.1}$ 倍とされている。
- ⇒木材の許容応力度と荷重継続期間との関係は下図の通り。

